

令和3年度 松本やまびこ保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

～子どもが真ん中！やっほー！やまびこ保育園！ 体をつくろう！心をつくろう！～

2. 本年度の重点目標

- ① 気持ち揃うと嬉しいね・・・そろえる心
- ② やってみよう！やってみたい！・・・がんばる心
- ③ ありがとう！心ぽかぽか・・・やさしい心

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	C
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	B
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・令和4年2月14日に松本市教育大綱が策定され「子どもが主人公学都松本のシンカ」を指針に多様性、創造性、主体性を学びの3つの視点としての取り組みに、園目標も通じていてとても良い
- ・発表会などの行事、日々の生活の様子から子どもの自主性を第一に保育を実践されていることを感じる
- ・「えほんのおうち」ができたことは子どもたちの幸せにつながり大変嬉しい。幼い時から本と出会う喜びを知るきっかけになることがよい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・職員の研修や自己研鑽などをおこなって資質向上することはとても大切かと思われるが、休みがしっかりととれたり、働きやすい環境にあることが、子どもが真ん中でいられる保育に繋がりと、子どもたちの為の保育に時間が注がれることに繋がってほしい
- ・職員が子どもたちにとっても温かく接し、一人の子どもを職員全体で保育にあたっていることが、保護者の育児や園の信頼に繋がっていることを次年度も継続し、更に、子どもが幸福感を感じ、保護者も安心して就労、子育てができるような園でありたい。
- ・トレーラーハウス「えほんのおうち」を有効的に活用し、子どもたちの絵本、お話の世界を大いに楽しみたい

